

合格体験記 S・S (65歳 男性)

2019年度の2次試験に不合格となったあと、2020年度MMC通年コースを受講しました。残念ながら2020年度も合格できませんでした。2021年度はMMCウェビナー・YouTube通信講座を受講し、なんとか2021年度第2次試験に合格できました。以下では、合格までの経験を述べさせていただきます。中小企業診断士受験生の方々のご参考になれば幸いです。

受験歴

① 1年目

2019年4月頃、中小企業診断士受験を思い立ち、市販の参考書・問題集で独習し、第1次試験合格。第1次試験自己採点で合格できそうと判り、あわてて勤務先近く(新橋)の学校に8月末から通学したものの、第2次試験不合格。

② 2年目

2020年1月よりMMC通年コースを受講し、第2次試験不合格。

③ 3年目

2021年1月よりMMCウェビナー・YouTube通信講座を受講。第1次試験勉強を、今回も市販の参考書・問題集で独習し、第1次試験再合格。第2次試験はなんとか合格。

MMCを選んだ理由

2年目にMMCを選んだ理由は以下のとおりです。

- ① ネット情報で2次試験のMMCの合格率が高いようだったからです。いくつか中小企業診断士試験対策学校の比較サイト等を見ると、MMCは合格率が高いと噂されていました。
- ② 解答方法に学校として統一感があったためです。1年目に受験した学校は事例を解答するためにSWOTシートのものを学校が用意していましたが、「これは、○校で使っていたものを真似したものだ」「私はこれを使わない」とかおっしゃる講師や、その学校で出している過去問模範解答に「私はこの解答は正しいと思わない」とおっしゃる講師がいらしたりし、解答方法に学校として一貫性が感じられず、個々の先生の主観・やり方で講義している印象でした。それに対し、MMCは、学校として、解答方法に統一性が高いように感じられましたし、実際にほぼそうでした。
- ③ ただ、一番大きかったのは、別の学校の説明会で、情報交換した受験生が、その受験生の同僚に「MMCの教え方がいい」と推薦されていた、ということです。やはり、ネッ

トではなく直接対面で、そう聞くと、良さそうに感じますね。

3年目に MMC を選んだ理由は以下のとおりです。

- ① 2年目のコロナ対応時、答案の回収・フィードバックや講義がオンライン化されており、スムーズに受講でき、いわゆる DX 対応が良かったからです。
- ② MMC の解答方法で解答することで、実際に自分の点数は上がっていたからです。中小企業診断協会の実際の試験採点方式と一致しているかはわかりませんが、MMC の解答方式をこのまま身に付けていけば、合格点がとれそうな気がしたからです。
- ③ 採点結果のフィードバックが1週間程度と早く、解答力の変化、問題点が早めに確認できたことです。
- ④ また、既年度受講生は受講料が何割か安くなっていることも、経済的には魅力でした。

試験勉強をして感じたこと

試験勉強をして感じたことは次の通りです。

- ① 人によって違うと思いますが、私の場合、キーポイントは事例Ⅳでした。私の 2020 年の MMC の答練、模擬試験の平均と標準偏差は、事例Ⅰ 60 ± 5 点、事例Ⅱ 61 ± 3 点、事例Ⅲ 61 ± 3 点、事例Ⅳ 62 ± 10 点、合計 248 ± 14 点で、事例Ⅳが大コケしなければ、ぎりぎり合格できるかなと思いました。しかし、2020 年度本試験の事例Ⅳの屈折 CVP の問題が、初見だったため、頭が真っ白になり、44 点しかとれず、不合格でした。事例Ⅰ～Ⅲは合計 182 点とれていたのも事例Ⅳで 58 点とれていれば合格していたはずでした。事例Ⅳは、仕事上、比較的なじみがあり、解き方のわからない問題はあまりありませんでした。それゆえ、解き方のわからない初見の問題が出題され、動揺しました（なお、2021 年度事例Ⅳでは屈折 CVP の複雑版の問題が出題されましたが、ほぼ同一の問題が MMC の 2021 年度第 1 回模擬試験で出題されていました。試験問題をみたとき、MMC に心の中でお礼をいいました）。
- ② 2020 年度の答練、模擬試験等の事例Ⅳの減点理由を分析すると、経営指標分析や CF 分析の書きぶりズレ、計算違い、課題と問題点の違い、四捨五入と切り捨て・小数点桁数・単位の誤認、設定条件の見落としなどのミス、初見問題の対応ミスなどでした。そこで、2021 年度は、8 月の第 1 次試験合格確認後、9 月末までは、事例Ⅳの問題（過去問、答練、模擬試験、財務ゼミ問題等）を、毎日繰り返し、繰り返し解いて、ミスの発生箇所を特定し、改善につとめたり、ストップウォッチで解答時間を計測するなどして、解答時間の短縮化をはかりました。
- ③ 事例Ⅰ～Ⅲは 10 月から復習しました。1 年以上 MMC で勉強してきたので、MMC の

解答方法に従い、キーワードマトリクスに沿って書いていけば、たぶん 60 点はいくと思いました。ただ、的をはずすこともあるので加点できるよう解答技術を向上することが重要かと思います。捏造をしない、見栄えをよくする、口語調でなく（漢字を多くすることですが）書くこと等、などかと思います。徳川先生には何度もご指導いただいたのですが、そこは最後まで、上達できませんでした。

- ④ なお、事例Ⅲについては、当初は、製造現場を全く知らず、言葉や概念になじみがなく、だいぶ苦労しました。ただ、事例をこなすと、事例の設定（一貫生産、高品質、下請、元請けからの発注減等）のバリエーションが少ないことがわかってきて、そこを分かってしまえば、逆に得点をとりやすいのでは、と思いました。実際、MMC の事例Ⅲの答練等の得点は、2020 年は 61 ± 3 点でしたが、2021 年は 65 ± 4 点と平均は 4 点向上していました。
- ⑤ 伊藤先生から、2 次試験対策として、メモを作った方がよいとの講義でのお勧めもあり、間違えたポイント書き出したメモを 10 月から作りはじめました。伊藤先生は、たくさん作っても、試験前に見きれないから、重要なポイントにしぼり、1 事例 2 頁程度がいいとのことでした。1 事例 A4・3 段・2 頁程度に間違えた点、忘れていた点、重要そうな点を書き出しました。しかし、事例Ⅲ、Ⅳは 2 頁に収まりきれず、文字の大きさを 10.5 ポイントから 8 ポイントに落とし、無理やり 2 頁に収めました。
- ⑥ 1 次試験再受験をされる方もいらっしゃるかと思います。私が一番悩んだのは、1 次試験の勉強と 2 次試験の勉強のバランスです。6 月末頃、どうバランスを取るか悩んで、長谷先生にお聞きしたら、「1 次試験でしょ」ということでしたので、気持ちも吹っ切れ、7～8 月第 1 次試験受験までは 1 次試験に集中して勉強しました。非常にありがたいアドバイスでした。なお、2 次試験勉強により、1 次試験解答力も向上するようで、2019 年度は 395 点平均 66 点（経営情報システム免除で 6 科目受験）でしたが、2022 年度は 505 点平均 72 点（全科目受験）とアップしていました。

終わりに

2 年間の受講を振り返ると、解答が違っている理由がわからない等はほとんどなく、直接アドバイスを受けたことは多くはなかったですが、先生方からの、答案採点でのアドバイスが的確で参考になり、また、コメントで励まされました。徳川先生、中居先生、伊藤先生、勝山先生、中矢先生、西先生、長谷先生には、ご指導いただき、合格にお導きいただき、本当にありがとうございました。

現在、実務補習を行っており、まだ登録までには時間がかかりそうですが、資格がとれましたら、中小企業のお役に立ちたいと思います。

私の拙い経験ですが、受験生の皆様のご参考になれば、幸いです。